

第一礼拝次第

メッセージ: イ・スンジャ牧師

司会: 伊禮信義先生

プレイスリード: 郭永東牧師



前奏
頌栄
主の祈り

540

会衆
会衆

プレイズ

「賛美せよ」

「主はわれらの太陽」

会衆

聖書朗読

使徒言行録

司会

9:1~11、22:3

(新約聖書 p 229、258)

司会

祈禱

賛美

讃美歌 164

司会

メッセージ

「三段階の恵み」

牧師

祈禱

賛美

新生讃美歌 300

牧師

聖餐式

献金

報告

頌栄

祝禱

新生 672b

司会

会衆

牧師

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

第二礼拝次第

メッセージ: 郭永東牧師

聖書: 列王記上 19:1~8 (旧約聖書 P.565)

メッセージ: 「えにしだの木の下で」

プレイス: 「賛美せよ」

「主はわれらの太陽」

賛美: 新生 24 新生 523

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

ファミリー礼拝

メッセージ: 渡真利彦文牧師

聖書: ルカ 11:1~4

メッセージ: 「主の祈り」

<巻頭言>

「ヨハネの黙示録の特色」

牧師 渡真利彦文

先月からヨハネの黙示録のメッセージを始めています。月に2回のペースで、少し間が空いても、連続して共に学んでいきます。これは新約聖書の最後にある書物であり、また聖書の最後にある書物です。新約聖書の中では唯一、将来にすることが預言されています。

ヨハネの黙示録は、黙示文学の一つである以上に「預言のことば」です。これは預言書でもあるのです。黙示(覆いを取り除く)も預言の一部とみなされます。預言は神が私たちに語ってくださることばです。将来のことだけではありません。預言の「預」に注目してください。

「予」ではなく、預金の「預」がわざわざ使われています。そのように、神のことばを聞いた人が、そのことばをしっかりと預かって、神のことばとして責任をもって伝えていくのです。そういう役割を担う人が預言者です。その意味では、メッセージする者も預言者です。まず神から語られることばを聴いて、それをしてしっかりと預かって、責任をもってそれを伝えていくのですから。

ヨハネの黙示録が預言のことばであることは、ヨハネの黙示録1章3節に「この預言のことばを朗読する人」とはっきり書いてあることでわかります。「預言する人」とはだれか、それは教会にほかなりません。もう一つ、ヨハネの黙示録は手紙でもある、ということ覚えていただきたい。黙示文学であり、預言書であり、また手紙でもあるのがヨハネの黙示録の特色なのです。